

「佐久市・佐久ケーブルテレビ・エフエム佐久平 臨時災害放送局 協定 締結」記事

2014年1月20日 信濃毎日新聞

佐久市・エフエム佐久平・佐久ケーブルテレビ

佐久市、エフエム佐久平（佐久市）、佐久ケーブルテレビ（同）は19日、災害時の情報提供や放送についての協定を結んだ。災害時、市は避難場所や被災状況などの情報を両社に速やかに提供し、放送を求められることができる。昨年2月の大雪災害も受けて連携を強化した。

協定には、市がエフエム佐久平に臨時災害放送局の開設と運営を委託できることも盛り込んだ。臨災局は、自治体が大

災害情報の放送で協定



協定書に署名する（右から）依田常務、柳田市長、井上社長

規模災害時に住民に災害情報を迅速に提供するために開設できる。総務省への申請手続きは市が行う。

この日、市役所での協定締結式には、柳田清一市長、エフエム佐久平の井上隆代表取締役社長、佐久ケーブルテレビの依田安弘常務取締役が出席。柳田市長はあいさつで「3者の強固な連携が市民の安心につながる」と述べた。井上社長は取材に、臨災局開設の際は「市の情報をベースにしながら、佐久広域の情報も流したい」と話した。